

# ベトナム株式ファンド

追加型投信／海外／株式

日経新聞掲載名：ベトナム

当ファンドは、特化型運用を行います。

2023年7月13日から2024年7月12日まで

第 **14** 期 決算日：2024年7月12日



## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、主としてベトナムの取引所に上場している株式、および世界各国・地域の取引所に上場しているベトナム企業の株式等に投資することにより、信託財産の成長を目指して運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

## 当期の状況

|           |           |
|-----------|-----------|
| 基準価額(期末)  | 36,833円   |
| 純資産総額(期末) | 10,866百万円 |
| 騰落率(当期)   | +27.4%    |
| 分配金合計(当期) | 0円        |

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

### ■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

### ■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

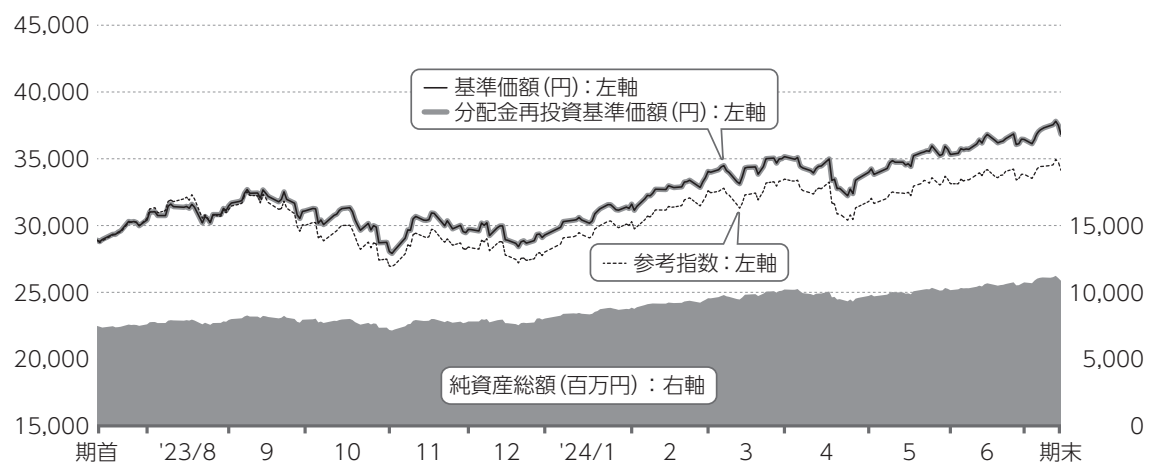
当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

# 1 運用経過

基準価額等の推移について(2023年7月13日から2024年7月12日まで)

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額および参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

|     |                           |
|-----|---------------------------|
| 期首  | 28,907円                   |
| 期末  | 36,833円<br>(既払分配金0円(税引前)) |
| 騰落率 | +27.4%<br>(分配金再投資ベース)     |

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの参考指数は、VNインデックス(円換算ベース)です。  
※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

### 基準価額の主な変動要因(2023年7月13日から2024年7月12日まで)

マザーファンドへの投資を通じて、主としてベトナムの取引所に上場している株式および世界各国・地域の取引所に上場しているベトナム企業の株式等に投資しました。銘柄選定にあたっては、成長性・財務健全性および流動性等に配慮し、厳選投資しました。実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いませんでした。

#### 上昇要因

- 11月から2024年3月にかけて、米国の利上げ観測の終息やベトナム国内の景気安定化期待を受けて、同国株式市場が上昇したこと
- 4月下旬から期末にかけて、米国との通商関係の改善期待などからベトナム株式市場が上昇したこと
- 期を通じてベトナムドンが円に対して上昇したこと

#### 下落要因

- 9月上旬から10月末まで、米国の金融引き締め政策の長期化観測などから世界的な株式市場が調整したことを受けて、ベトナム株式市場が下落したこと

当ファンドは特化型運用を行います。

当ファンドの投資対象であるベトナム株式市場には、全体の時価総額に対する構成割合が10%を超える可能性の高い銘柄が存在します。このため、当ファンドにおいても一般社団法人投資信託協会規則に定める純資産総額に対する比率(10%)を超える銘柄が存在することとなる可能性があります。当該銘柄に経営破たんや経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生し、ファンドの基準価額が下落することがあります。

1 万口当たりの費用明細 (2023年 7 月13日から2024年 7 月12日まで)

| 項 目           | 金額    | 比率      | 項目の概要                                                   |
|---------------|-------|---------|---------------------------------------------------------|
| (a) 信 託 報 酬   | 634円  | 1.958%  | 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数)<br>期中の平均基準価額は32,374円です。 |
| (投 信 会 社)     | (321) | (0.990) | 投信会社：ファンド運用の指図等の対価                                      |
| (販 売 会 社)     | (285) | (0.880) | 販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価          |
| (受 託 会 社)     | (28)  | (0.088) | 受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価                    |
| (b) 売買委託手数料   | 15    | 0.048   | 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数                           |
| (株 式)         | (15)  | (0.048) | 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料                         |
| (先物・オプション)    | (－)   | (－)     |                                                         |
| (投資信託証券)      | (－)   | (－)     |                                                         |
| (c) 有価証券取引税   | 1     | 0.004   | 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数                           |
| (株 式)         | (1)   | (0.004) | 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金                          |
| (公 社 債)       | (－)   | (－)     |                                                         |
| (投資信託証券)      | (－)   | (－)     |                                                         |
| (d) そ の 他 費 用 | 218   | 0.674   | その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数                               |
| (保 管 費 用)     | (216) | (0.666) | 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送回金・資産の移転等に要する費用      |
| (監 査 費 用)     | (2)   | (0.008) | 監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用                                  |
| (そ の 他)       | (0)   | (0.000) | そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用                                 |
| 合 計           | 869   | 2.683   |                                                         |

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

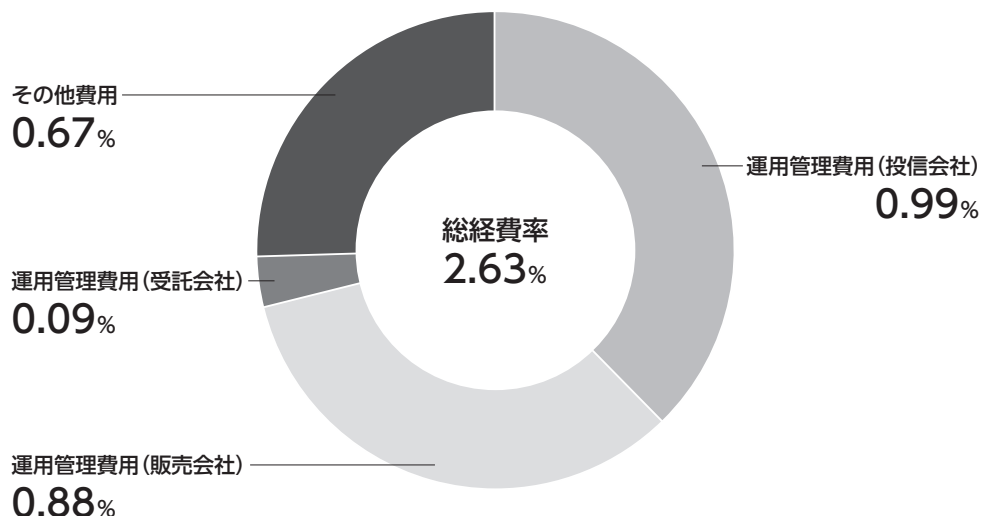
※比率欄は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



## 参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は2.63%です。

## 最近5年間の基準価額等の推移について(2019年7月12日から2024年7月12日まで)

## 最近5年間の推移



※分配金再投資基準価額は、2019年7月12日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

|               |       | 2019.7.12<br>決算日 | 2020.7.13<br>決算日 | 2021.7.12<br>決算日 | 2022.7.12<br>決算日 | 2023.7.12<br>決算日 | 2024.7.12<br>決算日 |
|---------------|-------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 基準価額          | (円)   | 18,529           | 15,176           | 24,957           | 27,209           | 28,907           | 36,833           |
| 期間分配金合計 (税引前) | (円)   | —                | 0                | 0                | 0                | 0                | 0                |
| 分配金再投資基準価額騰落率 | (%)   | —                | -18.1            | 64.5             | 9.0              | 6.2              | 27.4             |
| 参考指数騰落率       | (%)   | —                | -12.9            | 61.1             | 5.2              | 0.1              | 18.1             |
| 純資産総額         | (百万円) | 4,802            | 4,013            | 4,970            | 5,664            | 7,484            | 10,866           |

## 参考指数について

※外国の指数は基準価額への反映を考慮した日付の値を使用しています。

※参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

投資環境について(2023年7月13日から2024年7月12日まで)

ベトナム株式市場は上昇しました。為替市場では、ベトナムドンは円に対して上昇しました。

## 株式市場

ベトナム株式市場は期を通じて上昇しました。

9月上旬から10月末まで、米国の金融引き締め政策の長期化観測などから、米国の金利が上昇すると、ベトナム株式市場は下落しました。

11月以降、米国の利上げ観測が終息すると、ベトナムを含めて世界的に株式市場は上昇に転じました。12月には、大手格付け会社であるフィッチ・レーティングスがベトナムの信用格付けを引き上げたことなどが好感されました。また年明け後は、ベトナム国家銀行(中央銀行)が2024年の信用残高の伸び率目標を前年比で15%にすると発表したほか、企業の資金繰り支援の措置を継続したことなどから、景気に対する見方が改善し、3月末まで上昇しました。

その後、米国の利下げ開始時期の後ずれ懸念から、4月下旬にかけて下落する局面もありました。しかし、期末にかけては、米国との通商関係の改善期待や、外資企業による国内への直接投資により、ベトナム経済は長期的に製造拠点として成長力は高いとの見方

から上昇しました。

## 為替市場

米ドル・円は、期初から11月中旬にかけて、日銀が大規模な金融緩和を続ける姿勢を示したことや、FRB(米連邦準備制度理事会)の金融引き締めが長期化するとの見方が強まったことから、米ドル高・円安基調となりました。その後、日銀総裁の発言を受けてマイナス金利解除など金融政策の修正に動くとの観測が高まったことや、FRBの早期利下げ観測の強まりなどを背景に、12月末にかけて米ドル安・円高が進みました。しかし、年明け後は、日銀による早期のマイナス金利解除観測が後退したことなどから再び米ドル高・円安に転じました。3月には日銀がマイナス金利政策を解除したものの、当面は低金利政策が続くとの見方などから米ドル高・円安基調は維持され、期を通じては米ドル高・円安となりました。

ベトナムドンは対米ドルで、ベトナムの金融緩和と米国の利上げにより、期初から10月末まで緩やかに下落しました。米国の利上げ打ち止め観測によりいったん下げ止まり

ましたが、2月から4月までは再び下落しました。

ベトナムドン・円は、概ね米ドル・円に沿った動きとなりましたが、ベトナムドンの対米ドルでの下落率が、円の米ドルに対する下落率よりも小幅だったことから、ベトナムドンは対円で上昇しました。

### ポートフォリオについて(2023年7月13日から2024年7月12日まで)

## 当ファンド

期を通じて「ベトナム株マザーファンド」を高位に組み入れて運用を行いました。

## ベトナム株マザーファンド

### ●株式組入比率

高位を維持しました。期末の株式組入比率は94.4%となりました。

### ●個別銘柄

長期的なベトナムの経済成長から恩恵を受けることが期待される銘柄への分散投資を継続しました。

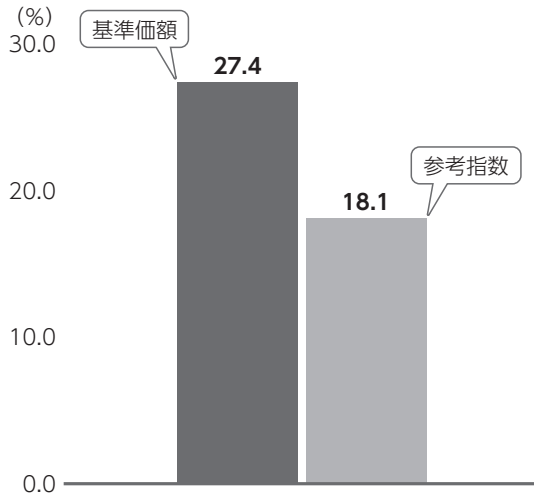
ベトナムへの直接投資拡大の恩恵が期待できる工業団地開発大手であるキンバック都市開発、住宅需要拡大の恩恵が期待できる大手不動産企業のナムロンインベストメントを購入しました。また、医薬品の製造・販

売を手掛け、所得上昇によるヘルスケア市場成長の恩恵が期待できるDHG製薬、周辺事業の切離しによる財務面の強化と小売り事業の収益性改善が期待できるマッサングループのほか、電力需要の拡大に伴う設備投資の恩恵が期待できる建設のPC1グループなどを購入しました。

一方で、株価上昇により割安度が低下したプラスチック製品大手のビン・ミン・プラスチックスを一部売却しました。またベトナムの大手コングロマリット(複合企業)であるビンググループやその子会社のビンコム・リテールを一部売却しました。

ベンチマークとの差異について (2023年7月13日から2024年7月12日まで)

基準価額と参考指数の騰落率対比



※基準価額は分配金再投資ベース

当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてVNインデックス (円換算ベース) を設けています。

記載のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

分配金について (2023年7月13日から2024年7月12日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

| 項 目       | 第14期    |
|-----------|---------|
| 当期分配金     | 0       |
| (対基準価額比率) | (0.00%) |
| 当期の収益     | —       |
| 当期の収益以外   | —       |
| 翌期繰越分配対象額 | 26,833  |

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りいたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。  
※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

## 2 今後の運用方針

### 当ファンド

引き続き「ベトナム株マザーファンド」を高位に組み入れる方針です。

### ベトナム株マザーファンド

米国における根強いインフレ圧力を背景にFRBによる利下げが後ずれすることは株式市場の下振れリスクとして残りますが、製造業の回復などに牽引されて世界経済が底堅く推移する見込みであることは、ベトナムを

含む東南アジアの企業業績の下支え要因になるとみています。

ベトナム経済に関しては、不動産市場における信用不安も一巡しつつあり、政府による景気支援策などにより国内景気は底堅く推移するとみています。欧米先進国を中心とするインフレ圧力の鈍化が明確になるにつれて、ベトナム株式市場も企業業績に沿った動きが見込まれます。

銘柄選択では、流動性に留意しつつ、業績の安定性や成長性を重視する方針です。

## 3 お知らせ

### 約款変更について

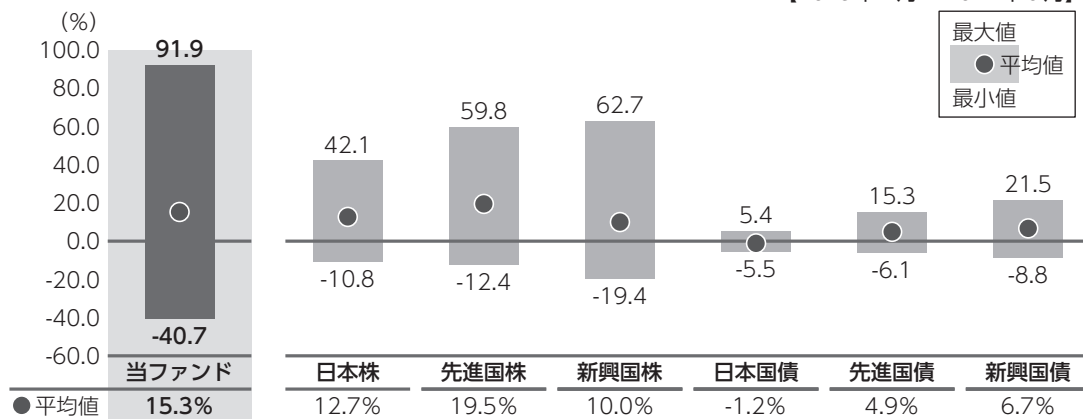
- デリバティブ取引の利用目的の明確化と信託期間を無期限とすることに伴う約款変更を行いました。  
(適用日：2023年10月6日)

## 4 当ファンドの概要

|                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 商 品 分 類                | 追加型投信／海外／株式                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 信 託 期 間                | 無期限(設定日：2010年7月1日)                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 運 用 方 針                | マザーファンドへの投資を通じて、主としてベトナムの取引所に上場している株式、および世界各国・地域の取引所に上場しているベトナム企業の株式等に投資することにより、信託財産の成長を目指して運用を行います。                                                                                                                                                                                                          |
| 主 要 投 資 対 象            | 当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。<br><b>ベトナム株マザーファンド</b><br>ベトナムの取引所に上場している株式、および世界各国・地域の取引所に上場しているベトナム企業の株式等                                                                                                                                                                                                      |
| 当 フ ァ ン ド の<br>運 用 方 法 | ■主としてベトナムの取引所に上場している株式、および世界各国・地域の取引所に上場しているベトナム企業の株式等に投資し、信託財産の成長を目指して運用を行います。<br>■銘柄選定にあたっては、成長性、財務健全性および流動性等に配慮し、厳選投資します。<br>■外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。                                                                                                                                             |
| 組 入 制 限                | 当ファンド<br>■株式への実質投資割合には、制限を設けません。<br>■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。<br><b>ベトナム株マザーファンド</b><br>■株式への投資割合には、制限を設けません。<br>■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。                                                                                                                                                                    |
| 分 配 方 針                | ■年1回(原則として毎年7月12日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配金額を決定します。<br>■分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の全額とします。<br>■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。<br>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。<br><div>ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。<br/>(基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)</div> |

## 5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

【2019年7月～2024年6月】



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

### 各資産クラスの指数

|      |                                                                                                                        |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日本株  | <b>TOPIX (東証株価指数、配当込み)</b><br>株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。                                    |
| 先進国株 | <b>MSCI コクサイ・インデックス(グロス配当込み、円ベース)</b><br>MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。                                  |
| 新興国株 | <b>MSCI エマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース)</b><br>MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。                                    |
| 日本国債 | <b>NOMURA-BPI (国債)</b><br>野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。                             |
| 先進国債 | <b>FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)</b><br>FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。                      |
| 新興国債 | <b>JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)</b><br>J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。 |

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

## 6 当ファンドのデータ

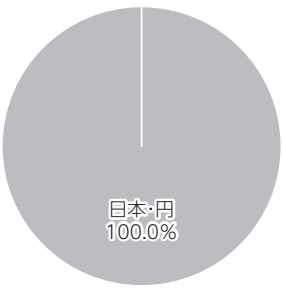
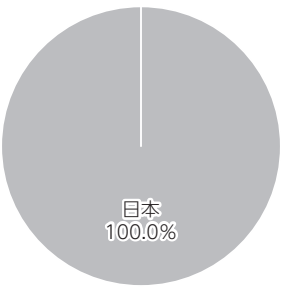
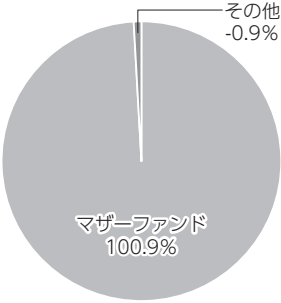
### 当ファンドの組入資産の内容 (2024年7月12日)

#### 組入れファンド等

| 銘柄名          | 組入比率   |
|--------------|--------|
| ベトナム株マザーファンド | 100.9% |
| コールローン等、その他  | -0.9%  |

※比率は、純資産総額に対する割合です。

#### 資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

### 純資産等

| 項目             | 第14期末<br>2024年7月12日 |
|----------------|---------------------|
| 純資産総額 (円)      | 10,866,649,812      |
| 受益権総口数 (口)     | 2,950,222,069       |
| 1万口当たり基準価額 (円) | 36,833              |

※当期における、追加設定元本額は1,373,028,082円、解約元本額は1,011,907,260円です。

組入上位ファンドの概要

ベトナム株マザーファンド(2024年 1 月13日から2024年 7 月12日まで)

基準価額の推移



1 万口当たりの費用明細

(単位：円)

| 項 目       | (内訳)   | 金額 | (内訳) |
|-----------|--------|----|------|
| 売買委託手数料   | (株式)   | 2  | (2)  |
| 有価証券取引税   | (株式)   | 0  | (0)  |
| そ の 他 費 用 | (保管費用) | 50 | (50) |
|           | (その他)  |    | (0)  |
| 合計        |        | 52 |      |

※項目の概要については、前記「費用明細」をご参照ください。

組入上位銘柄

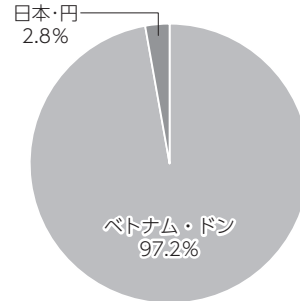
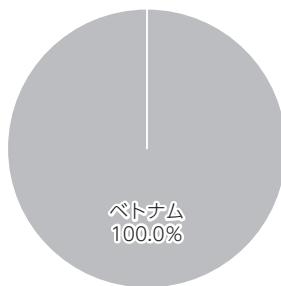
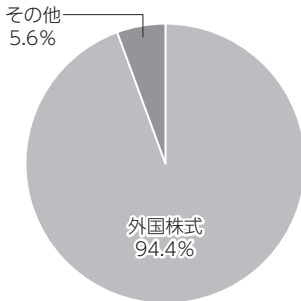
(基準日：2024年 7 月12日)

|    | 銘柄名                          | 業種                 | 組入比率 |
|----|------------------------------|--------------------|------|
| 1  | FPT CORP                     | ソフトウェア・サービス        | 8.8% |
| 2  | BANK FOR FOREIGN TRADE JSC   | 銀行                 | 8.3% |
| 3  | BANK FOR INVESTMENT AND DEVE | 銀行                 | 6.2% |
| 4  | FPT DIGITAL RETAIL JSC       | 一般消費財・サービス流通・小売り   | 4.7% |
| 5  | LIEN VIET POST JSC           | 銀行                 | 4.3% |
| 6  | VIETNAM JS COMMERCIAL BANK F | 銀行                 | 4.3% |
| 7  | VIETNAM DAIRY PRODUCTS JSC   | 食品・飲料・タバコ          | 4.1% |
| 8  | PETROVIETNAM GAS JSC         | 公益事業               | 3.6% |
| 9  | HDBANK                       | 銀行                 | 3.3% |
| 10 | DIGIWORLD CORP               | テクノロジー・ハードウェアおよび機器 | 3.1% |
|    | 全銘柄数                         | 37銘柄               |      |

※比率は、純資産総額に対する割合です。

※全組入銘柄につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

※基準日は2024年 7 月12日現在です。